

# 地域で安全・安心なまちづくりを目指して

●問合先 市役所交通防災課 交通・防災G 内線 138

## 平成24年度 守谷市「発災対応型防災訓練」

〈主催〉守谷市 〈協力〉守谷の地域防災を考える会、守谷市消防団、守谷消防署・南守谷出張所

市では今年度から、東日本大震災や阪神・淡路大震災の教訓・実例を踏まえ、一部の地域において「発災対応型防災訓練」を実施します。

従来までは、参加者が一堂に集まり、初期消火活動や応急救護訓練などを実施する方法でした。このような会場型防災訓練は、毎回変化が少なく、参加者も受動的に訓練を行いがちになるためマンネリになりやすい欠点があります。

一方、今年度実施する「発災対応型防災訓練」は、シナリオのない現実的な初動対応訓練です。

実際の災害時には、近くの一時避難場所（公園や自治会館等）や避難所に避難する間に、火災に遭遇し、消火活動を求められるかもしれません。また、道路がふさがれて先に進むことができなくなったり、近くで助けを求める人の声が聞こえてくるかもしれません。予測しない事態が次々に起こってくるのが「実際の災害」なのです。

「発災対応型防災訓練」は、各自の判断で行動しなければならぬため、実際の災害に対して即時対応能力が養われるといった利点があります。

過去の教訓から分かることは、被災直後に役立つものは「地域の絆」であり、地域で助け合う環境を整えていくことが重要であるということです。この訓練は、普段の生活の場である自分たちの地域での災害を想定した訓練であり、地域住民の防災行動力の向上を図ることを目的とします。

今回の訓練は、事前に自治会長宛てに通知し、希望された自治会や自主防災組織で実施されます。

「自主防災組織などの取り組みをまだ実施していない」「これから組織結成を考えている」自治会の方は、今後の地域防災力に繋がりますので、

ぜひ参観してください。参観を希望する地区の方は、交通防災課までご連絡ください。

▶実施日時 9月2日(日) 13:00～

▶実施地区

事前に実施を希望した自治会・自主防災組織

▶訓練想定 茨城県南部を震源とする直下地震が発生（震度7／マグニチュード8.8）

▶訓練内容 発災対応型防災訓練

※訓練内容は地域の実情によって多少異なります

【自治会・自主防災組織】

- ・地震発生～自分の身を守る（自助）
- ・近所への声かけ ・一時避難場所へ参集
- ・自治会の災害対策本部を開設
- ・自治会区域内の調査活動
- ・地域内負傷者救助、負傷者応急手当、初期消火
- ・被害状況の報告や市からの情報収集・伝達

【市・関係機関】

- ・守谷市災害対策本部設置訓練
- ・消防団の受け持ちエリア内情報収集伝達訓練

### 空き巣多発!!

☆人口10万人当たりの発生件数で、茨城県は全国ワースト1位

☆ドロボーは、ほとんどが次の手口で進入…  
**ガラスを破る！ 鍵をかけていない家を狙う！**  
⇒家を留守にする際（少しの時間でも）や就寝する際は、必ず鍵を掛けましょう。

☆空き巣被害を防ぐための3つのアドバイス

- ①防犯フィルムを貼る!!
- ②防犯ガラスにする!!
- ③補助錠などを付ける!!

守谷市の交通事故発生状況（7月） 件数9件 死者数0人 負傷者数11人

FAX 45・6529  
画課 統計G 内線 332  
▼申込・問合先 市役所企

金を支払う  
後、担当課から申込者へ連絡が来る②申し込みをした窓口で手帳を受け取り、代  
①手帳納品（11月上旬予定）  
し込む▼受取・支払方法  
AXで9月28日(金)までに申  
直接窓口を持参、またはF  
元 県統計協会▼申込方法  
申込書（問合先窓口、郷州・  
高野・北守谷の各公民館、  
文化会館、保健センターで  
取得）に必要事項を記入し、  
21cm）900円▼発行  
00円/デスク版（14.9  
標準版（8.2×13.9cm）4  
12cm・鉛筆付）300円/  
▼価格 ポケット版（7×

平成25年版  
2013 茨城県民手帳  
申込受付中!